

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和5年12月】

■調査概要（データ対象期間：令和5年12月1日～12月31日）

○調査期間：令和5年12月27日～令和6年1月22日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業19企業、製造業17企業、卸売業14企業、小売業19企業

飲食業13企業、サービス業33企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計115企業>

○調査項目：12月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DIはプラスからマイナスに転じ、水準DIはマイナス幅が拡大した

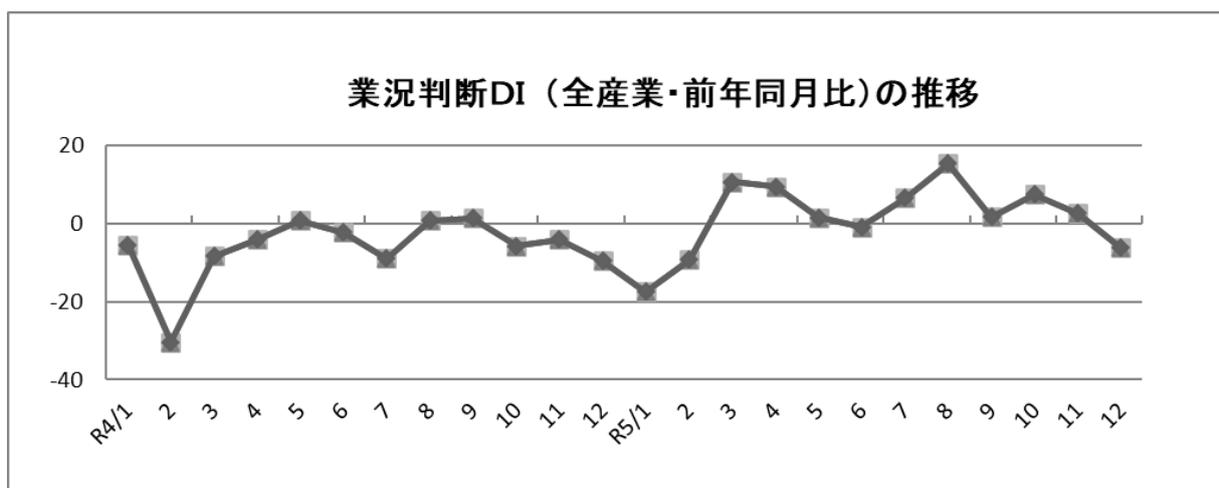
1. 業況判断

- 全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月(2.6)より8.7ポイント下降し、▲6.1となった。業種別では、飲食業はプラス幅が縮小し、サービス業はプラスからマイナスへ転じた。製造業は0からマイナスとなり、小売業はマイナスからプラスへ転じた。建設業はマイナスから0となり、卸売業はマイナス幅が縮小した。
- 全産業合計の水準DIは、前月(▲3.6)より5.1ポイント下降し、▲8.7になった。業種別では、飲食業がプラスから0となり、サービス業はプラスからマイナスへ転じた。製造業は0からマイナスへ転じ、小売業・建設業・卸売業はマイナスから0となった。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	14.8 (21.4)	64.3 (59.8)	20.9 (18.8)	▲ 6.1 (2.6)	13.9 (20.5)	63.5 (55.4)	22.6 (24.1)	▲ 8.7 (▲ 3.6)
建設業	10.5 (5.0)	79.0 (80.0)	10.5 (15.0)	0.0 (▲ 10.0)	5.3 (5.0)	89.4 (80.0)	5.3 (15.0)	0.0 (▲ 10.0)
製造業	5.9 (17.6)	64.7 (64.8)	29.4 (17.6)	▲ 23.5 (0.0)	17.6 (23.5)	47.1 (53.0)	35.3 (23.5)	▲ 17.7 (0.0)
卸売業	21.4 (8.3)	50.0 (66.7)	28.6 (25.0)	▲ 7.2 (▲ 16.7)	21.4 (16.7)	57.2 (58.3)	21.4 (25.0)	0.0 (▲ 8.3)
小売業	15.8 (16.7)	73.7 (50.0)	10.5 (33.3)	5.3 (▲ 16.6)	15.8 (16.7)	68.4 (38.9)	15.8 (44.4)	0.0 (▲ 27.7)
飲食業	38.5 (70.0)	30.7 (10.0)	30.8 (20.0)	7.7 (50.0)	38.5 (50.0)	23.0 (20.0)	38.5 (30.0)	0.0 (20.0)
サービス業	9.1 (25.7)	69.7 (62.9)	21.2 (11.4)	▲ 12.1 (14.3)	3.0 (22.9)	72.8 (60.0)	24.2 (17.1)	▲ 21.2 (5.8)

※「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計

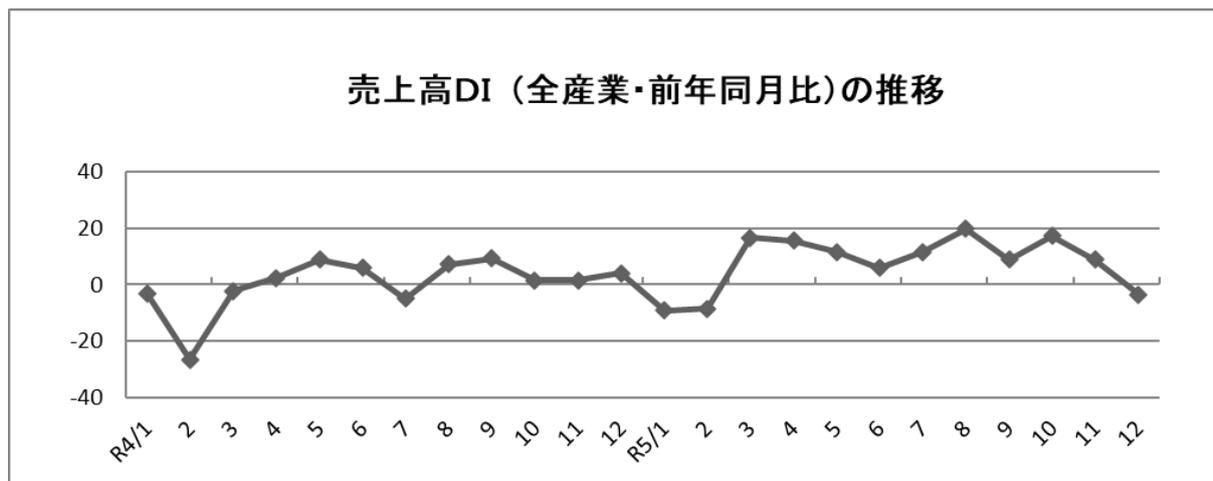


2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月(9.0)より12.5ポイント下降して、▲3.5となった。業種別に見ると、サービス業・製造業はプラスからマイナスへ転じ、飲食業はプラスから0となった。卸売業は0からプラスへ転じ、建設業は0からマイナスとなった。小売業はマイナスからプラスへ転じた。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全体	4.0	▲9.2	▲8.4	16.6	15.5	11.7	6.0	11.6	19.7	8.8	17.3	9.0	▲3.5
建設業	▲25.0	▲15.8	▲27.7	▲10.6	▲29.4	▲31.5	0.0	▲23.5	▲27.7	▲17.6	▲5.9	0.0	▲5.3
製造業	11.1	▲5.5	▲11.7	5.0	30.0	5.5	26.3	15.7	5.5	6.7	11.1	5.9	▲23.5
卸売業	16.7	22.2	0.0	33.3	▲12.5	0.0	12.5	8.3	9.1	▲8.3	▲9.1	0.0	21.5
小売業	4.2	▲39.2	▲13.6	39.2	4.8	30.4	▲4.5	8.3	40.0	▲15.0	14.3	▲16.7	10.6
飲食業	7.2	23.1	▲23.1	33.4	25.0	53.8	16.7	53.8	64.3	64.3	64.3	50.0	0.0
サービス業	10.5	▲7.9	8.3	15.0	36.9	13.5	0.0	13.9	25.0	19.4	22.5	20.0	▲12.1

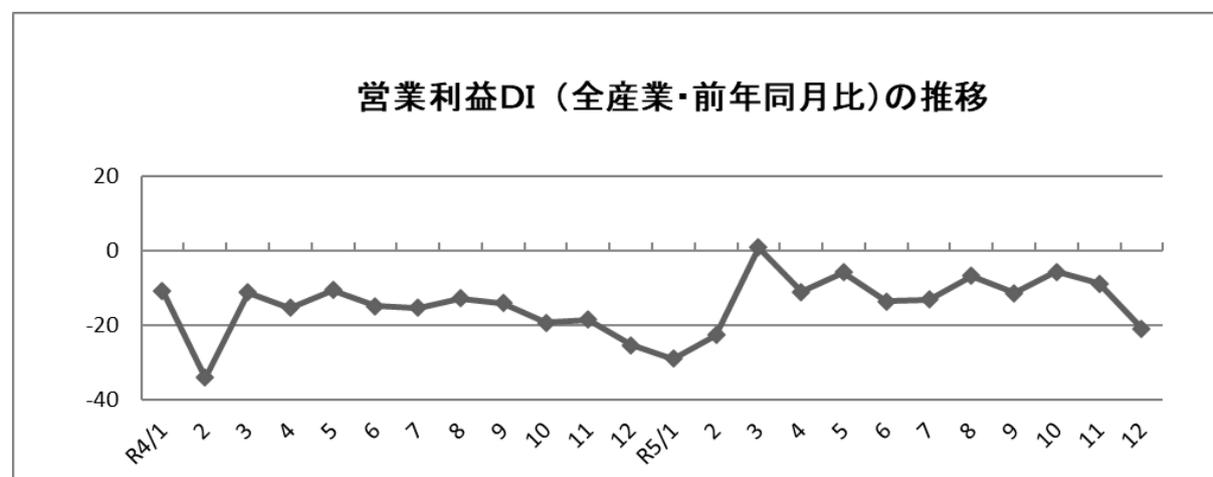


3. 営業利益DI（前年同月比）

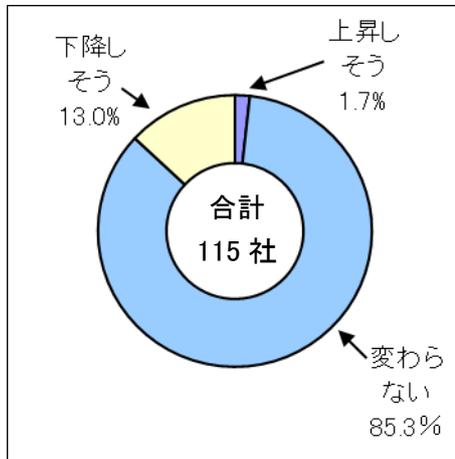
○全産業合計の営業利益DIは、前月(▲8.9)より12ポイント下降して、▲20.9となった。サービス業はプラスからマイナスへ転じ、卸売業・小売業はマイナス幅が縮小した。製造業・建設業・飲食業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全体	▲25.4	▲29.1	▲22.7	0.8	▲11.2	▲5.9	▲13.6	▲13.2	▲6.8	▲11.4	▲5.8	▲8.9	▲20.9
建設業	▲45.0	▲21.1	▲33.3	▲15.8	▲35.3	▲36.8	▲20.0	▲29.4	▲38.8	▲29.4	▲17.6	▲5.0	▲15.8
製造業	▲61.1	▲50.0	▲35.3	▲10.0	▲10.0	▲16.7	▲15.8	▲26.3	▲33.4	▲13.3	▲27.7	▲29.5	▲35.3
卸売業	▲25.0	▲11.1	▲23.1	11.1	▲25.0	▲40.0	0.0	0.0	▲18.2	▲16.7	▲27.2	▲25.0	▲7.1
小売業	▲12.5	▲52.2	▲13.7	17.4	▲23.8	26.1	▲18.2	▲12.5	5.0	▲30.0	▲14.3	▲22.2	▲15.8
飲食業	▲28.6	▲30.8	▲38.4	▲22.2	▲16.7	0.0	▲16.6	▲7.7	28.6	0.0	14.3	▲10.0	▲53.8
サービス業	▲5.2	▲13.2	▲11.1	7.5	10.5	2.7	▲8.1	▲5.6	5.5	5.5	12.5	11.4	▲12.1



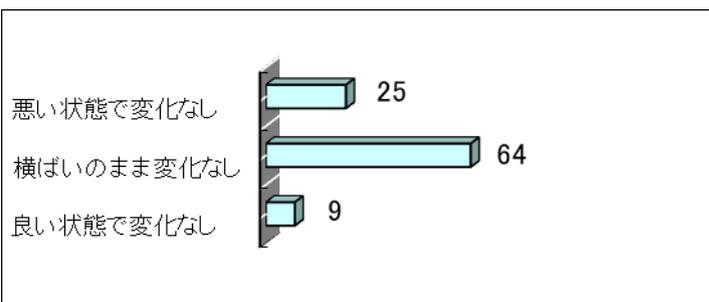
◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○令和6年1月～令和6年3月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ11.6ポイント減り1.7%、「下降しそう」が6.3ポイント増え13.0%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲10.5)、製造業(▲17.6)、卸売業(▲7.2)、小売業(▲21.1)、飲食業(▲7.7)、サービス業(▲6.1)であった。

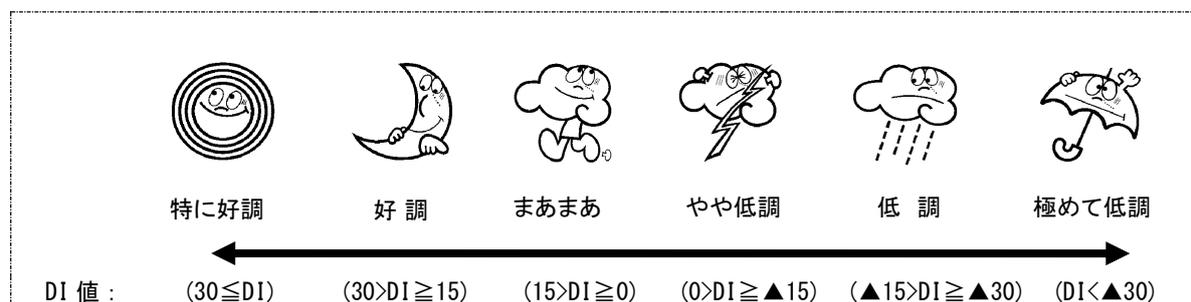
➡「上昇しそう」では「営業努力や物流、バックオフィスの効率化等が進んでいるため」(卸売業)

➡「下降しそう」では「受注がないため」(建設業)「1月から2月は閑散期のため」「例年の流れのため」(製造業)「買い控えや地震の影響で不安感があるため」(卸売業)「地震の影響で観光客数や購買意欲が下がることが予想できるため」(小売業)「インフルエンザ流行のため」「職業訓練受講者数が減少しているため」「閑散期と改装中であるため」(サービス業)といった声が寄せられた。

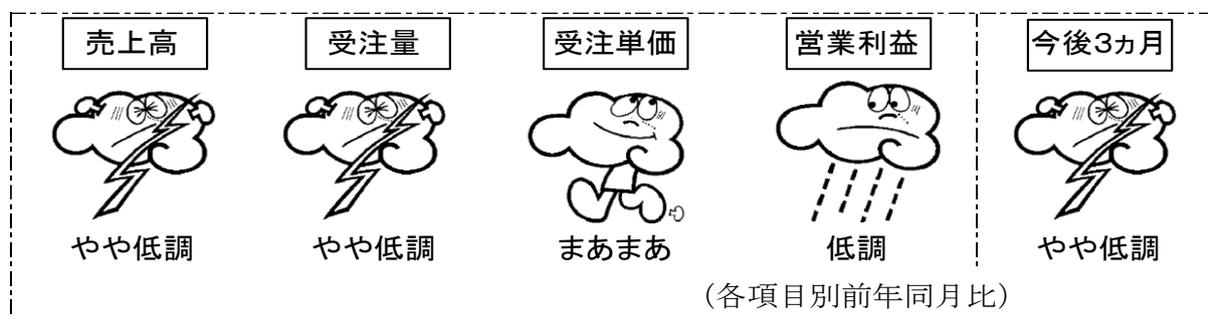


業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 27.7	▲ 10.6	▲ 29.4	▲ 31.5	0.0	▲ 23.5	▲ 27.7	▲ 17.6	▲ 5.9	0.0	▲ 5.3
受注量	▲ 30.0	▲ 21.0	▲ 27.8	▲ 21.0	▲ 23.5	▲ 21.1	▲ 15.0	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 11.7	▲ 5.8	▲ 5.0	▲ 5.2
受注単価	▲ 5.0	▲ 5.3	▲ 16.7	▲ 5.2	0.0	▲ 10.5	0.0	▲ 5.9	5.6	5.9	5.9	5.0	5.3
営業利益	▲ 45.0	▲ 21.1	▲ 33.3	▲ 15.8	▲ 35.3	▲ 36.8	▲ 20.0	▲ 29.4	▲ 38.8	▲ 29.4	▲ 17.6	▲ 5.0	▲ 15.8
見通し	▲ 5.0	▲ 5.2	▲ 5.5	0.0	5.9	5.3	5.0	5.9	5.5	5.9	0.0	0.0	▲ 10.5

<経営者の目・見方・e t c >

鉄工

・建設向けの鋼材需要は昨年に比べて15%ほど縮小しているようで、景気は後退局面と思われる。

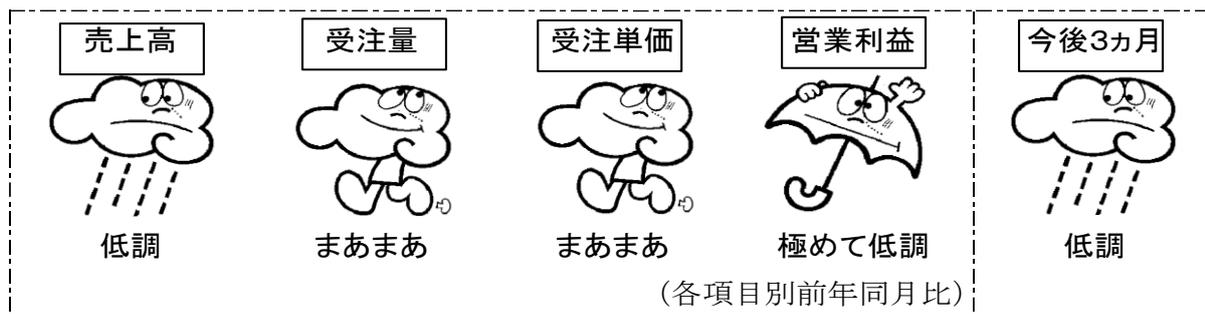
土木工事

・新年会、賀詞交歓会はコロナ禍以前と同様に開催する所が多い。
 ・能登半島地震の復興、復旧支援要請が長野県からあった場合、建設業協会がどの程度の体制がとれるか心配である。

電気工事

・公共工事の発注が少ないと感じる。
 ・工事で使用するケーブル類等が入ってこないで現場の予定がたたない。この状況がいつ解消できるかが心配である。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	11.1	▲ 5.5	▲ 11.7	5.0	30.0	5.5	26.3	15.7	5.5	6.7	11.1	5.9	▲ 23.5
受注量	▲ 16.6	▲ 27.8	▲ 11.7	▲ 5.0	5.0	5.6	5.3	▲ 5.3	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0
受注単価	11.1	16.6	23.5	10.0	25.0	16.6	21.0	26.3	16.7	▲ 6.7	16.7	0.0	0.0
営業利益	▲ 61.1	▲ 50.0	▲ 35.3	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 16.7	▲ 15.8	▲ 26.3	▲ 33.4	▲ 13.3	▲ 27.7	▲ 29.5	▲ 35.3
見通し	▲ 27.7	22.2	0.0	▲ 25.0	▲ 15.0	5.5	▲ 15.8	▲ 5.2	16.6	0.0	16.6	▲ 5.8	▲ 17.6

<経営者の目・見方・e t c>

印刷

- ・依然として実質的デフレ圧力の強い動きがある。北信では価格転嫁どころか価格が下がっているという絶句の状況も聞こえてきている。県庁所在地周辺でこれでは深刻過ぎる。

精密機械

- ・製造業は全般的に低調だが、未だに部品不足などが散發している。設備投資も極めて限定的だと感じる。

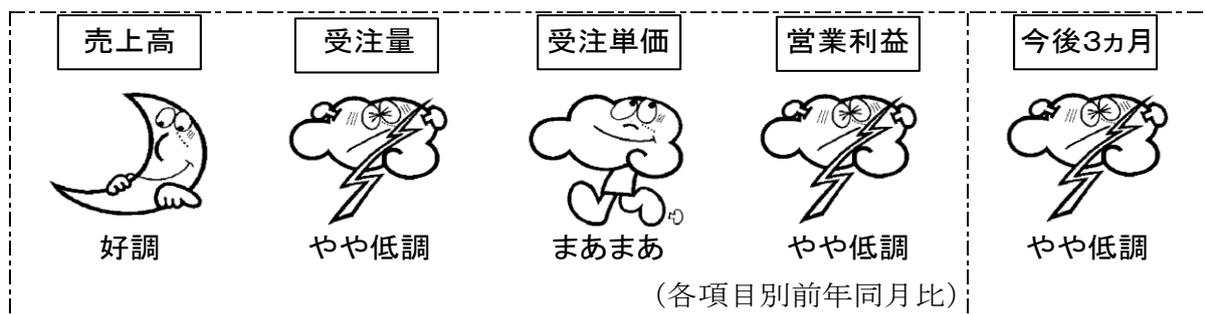
小型情報機器組立

- ・先の見通しがわからない。

金属塗装

- ・令和4年12月が悪かったため、令和5年12月は良くなっているが、原材料、燃料は高止まりで採算は厳しい。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	16.7	22.2	0.0	33.3	▲ 12.5	0.0	12.5	8.3	9.1	▲ 8.3	▲ 9.1	0.0	21.5
販売客数	0.0	0.0	▲ 7.7	11.1	▲ 25.0	▲ 10.0	12.5	▲ 8.4	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 27.3	▲ 16.7	▲ 7.1
販売客単価	8.4	22.2	0.0	33.3	0.0	10.0	12.5	25.0	27.3	8.3	18.2	0.0	14.3
営業利益	▲ 25.0	▲ 11.1	▲ 23.1	11.1	▲ 25.0	▲ 40.0	0.0	0.0	▲ 18.2	▲ 16.7	▲ 27.2	▲ 25.0	▲ 7.1
見通し	▲ 16.7	0.0	▲ 7.7	0.0	12.5	▲ 10.0	0.0	0.0	▲ 9.1	▲ 33.3	▲ 18.2	0.0	▲ 7.2

<経営者の目・見方・e t c>

- 青果
 - ・青果物は全体的に単価が良く、売上利益ともに前年を上回る結果である。年末は人の流れも良く、景気が戻ってきた。
- 青果卸小売業
 - ・年末年始というより連休を楽しむだけというように意識が変わってきているような気がする。
- 自転車
 - ・クリスマス需要が少しあった。電動自転車は動きが良くなかった。スタッドレスタイヤは暖冬の影響で良くなかった。昨年比をクリアしている販売網は少ない。
- 土産品
 - ・全体的に観光需要は活発であり、土産品の購入も好調である。年末年始や3連休に期待したい。
- 金属製品
 - ・中小企業が行う春先以降の鉄骨案件が薄く、先行きが不透明である。産機、建機においても物量は右肩下がりであり依然厳しい状況である。運送関連も大きな課題となっている。
- 製菓材料卸売
機会工具
 - ・引き続き原材料の値上げが止まらず、見通しは難しい。
 - ・あらゆるコストを価格転嫁できているのは大企業のみであり、中小企業は負担を強いられている。今後懸念される輸送費の転嫁についても交渉の難航が予想される。
- 木材・建材
 - ・11月の住宅着工戸数は、全国、長野県内ともに前年比92.0%と前年割れが続いており、先行きの業績見込みに明るさが感じられない。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	4.2	▲ 39.2	▲ 13.6	39.2	4.8	30.4	▲ 4.5	8.3	40.0	▲ 15.0	14.3	▲ 16.7	10.6
販売客数	▲ 4.1	▲ 39.1	0.0	4.4	▲ 9.5	17.4	▲ 9.1	4.1	20.0	▲ 20.0	9.6	▲ 5.6	0.0
販売客単価	12.5	▲ 26.1	13.6	0.0	▲ 19.1	26.1	9.1	25.0	15.0	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 5.6	0.0
営業利益	▲ 12.5	▲ 52.2	▲ 13.7	17.4	▲ 23.8	26.1	▲ 18.2	▲ 12.5	5.0	▲ 30.0	▲ 14.3	▲ 22.2	▲ 15.8
見通し	▲ 16.6	▲ 8.7	0.0	17.4	▲ 4.8	0.0	13.7	8.3	0.0	0.0	▲ 19.0	▲ 5.6	▲ 21.1

<経営者の目・見方・e t c>

- 印章
 - ・インボイス登録番号関連ゴム印の注文は一段落した。忘年会の開催がコロナ禍以前と同程度に戻ってきた。
- 洋菓子店
 - ・クリスマス、年末年始のため動きがあったが、横ばいが現状である。
 - ・全体としては少し落ち着いていた状態だと思ったが、クリスマスなどのイベントの需要が高く、売上は前年より良かった。
- ギフト商品・
カレンダー・うちわ
 - ・例年12月の喧騒状態の日々が少ないように思われた。
- 化粧品
 - ・化粧品メーカーの価格は今まで変動はなかったが、いよいよ来年に価格改訂の連絡がきた。
- 生鮮食品
 - ・前半は大きな動きがあまりなかったが、後半は前年並みに良くなった。市内に観光客が多くて良かった。

5. 飲食業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3カ月
				
まあまあ	好調	まあまあ	極めて低調	やや低調

(各項目別前年同月比)

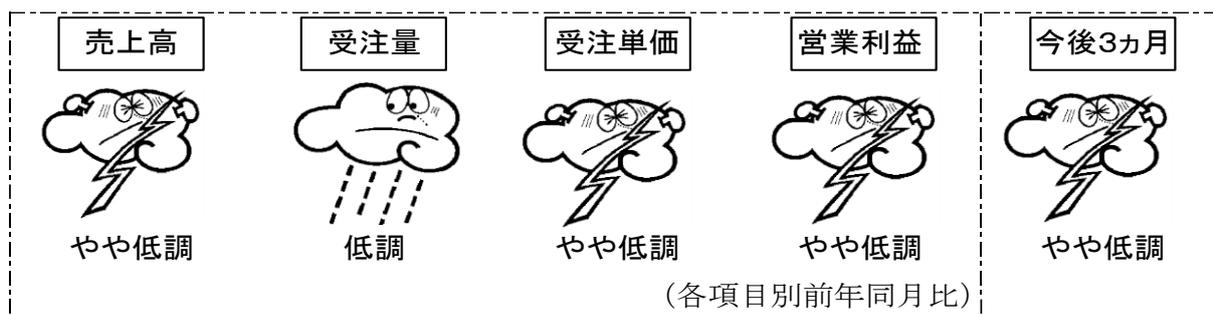
【項目別DIの推移】

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	7.2	23.1	▲ 23.1	33.4	25.0	53.8	16.7	53.8	64.3	64.3	64.3	50.0	0.0
販売客数	▲ 7.1	23.1	▲ 23.1	55.6	25.0	38.4	25.0	23.1	57.2	57.2	50.0	20.0	15.4
販売客単価	▲ 28.6	7.7	▲ 15.4	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 16.7	23.1	28.6	7.1	28.6	10.0	7.7
営業利益	▲ 28.6	▲ 30.8	▲ 38.4	▲ 22.2	▲ 16.7	0.0	▲ 16.6	▲ 7.7	28.6	0.0	14.3	▲ 10.0	▲ 53.8
見通し	0.0	0.0	30.8	33.3	25.0	23.1	25.0	0.0	7.2	7.2	14.3	0.0	▲ 7.7

<経営者の目・見方・e t c>

- 寿司
 - ・10人以上の宴会は増えつつあるが、忘新年会シーズンであるにもかかわらず遅い時間のお客様動向は依然として少ないと感じる。今後も食材含めた値上がりに懸念している。
 - ・期待通りの売上となった。コロナ禍以前に戻ったような気がする。ただ、売上に比べて仕入値は格段の上昇であった。特に12月20日以降の魚の値上がりは驚くほどであった。
- 食堂
 - ・忘年会の予約数は増えたが大人数はなかった。12月に入り気温が下がり、高齢者の出足が少なく暇になってきた。
 - ・イオンモール周辺の道路は渋滞が見られるようになった。
- 郷土料理
 - ・個人のお客様、特に土日は客数が増えるが、宴会の予約が少なく売上が伸びなかった。平日の客の入りが少ない。
- 料理
中華料理
 - ・以前と比べて忘年会等人の動きが悪い12月であった。
 - ・お客様は増えてもキャッシュレスの方が多く、手数料が多額になる。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	10.5	▲ 7.9	8.3	15.0	36.9	13.5	0.0	13.9	25.0	19.4	22.5	20.0	▲ 12.1
販売客数	▲ 5.2	▲ 7.9	8.3	2.5	28.9	8.1	0.0	11.1	8.3	11.1	12.5	8.6	▲ 18.1
販売客単価	5.2	13.2	11.1	10.0	23.7	10.8	5.4	11.1	19.4	19.4	27.5	11.4	▲ 3.1
営業利益	▲ 5.2	▲ 13.2	▲ 11.1	7.5	10.5	2.7	▲ 8.1	▲ 5.6	5.5	5.5	12.5	11.4	▲ 12.1
見通し	▲ 5.2	▲ 5.3	8.3	2.5	15.8	10.8	24.3	13.8	13.9	8.3	2.5	0.0	▲ 6.1

<経営者の目・見方・etc>

ソフトウェア

・複数拠点を抱える顧客の案件需要は相変わらず高い。ただ、そのようなケースはほぼ大手の企業が上流を担い、地方のIT企業は末端の作業者である。若手には現状に安住することなくキャリア戦略を考えていただき、いずれは一般顧客の地方企業のITを担う人材になってほしい。

旅館

・山間地であり、人手は専業でないと難しい。

宿泊

・雪不足で心配されたが、スキー場が無事オープンしホッとした乗鞍高原である。とは言え、平日の静けさが心配されている。

ホテル

・松本市においては官公庁の補助金の動きもあり、設備投資する施設が多くある。

・学校関係の忘年会がほとんどなかった。

ホームクリーニング・

・リネンにおいてはインバウンドを含め一服感がある。

リネンサプライ業

機械設計

・今期は良い状態が続いている。来期は分からない。

不動産賃貸

・変動なし。

